

【日 時】

平成 30 年 3 月 7 日 (水) 8:30~9:50

【目 的】

平成 30 年春季火災予防運動の一環として、不特定多数の者が利用する市民利用施設からの地震を想定した総合的な消防訓練を実施し、自主防火管理体制の充実を図るとともに、消防機関における火災防御技術の向上及び広瀬文化センターとの協力体制を確認するとともに、訓練を通じた広報活動により市民の防火意識の高揚を図ることを目的とする。

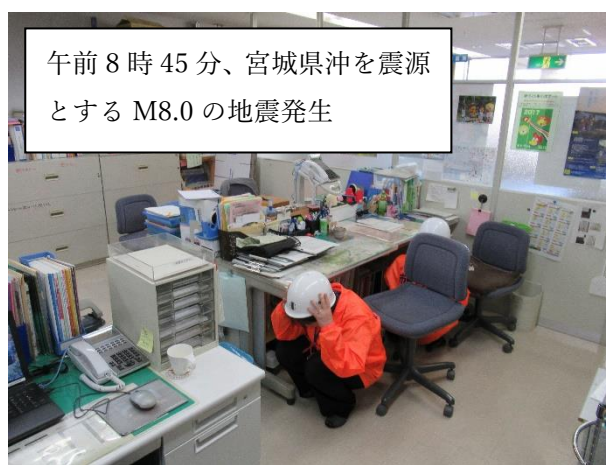
【訓練想定】

平成 30 年 3 月 7 日午前 8 時 45 分、宮城県沖を震源とするマグニチュード 8.0 の地震が発生し、青葉区内では震度 6 弱を観測した。

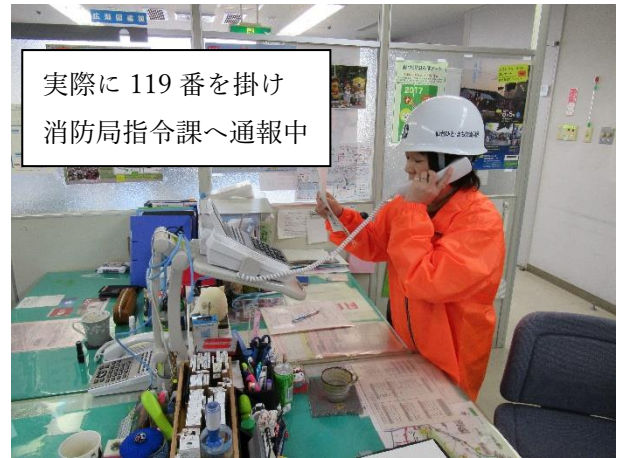
広瀬文化センターでは、ホール設備の改修工事が行われており、工事関係者が作業を行っている中、激しい揺れにより工事用資機材が崩れて下敷きになった作業員や落下物等により負傷する作業員が発生した。

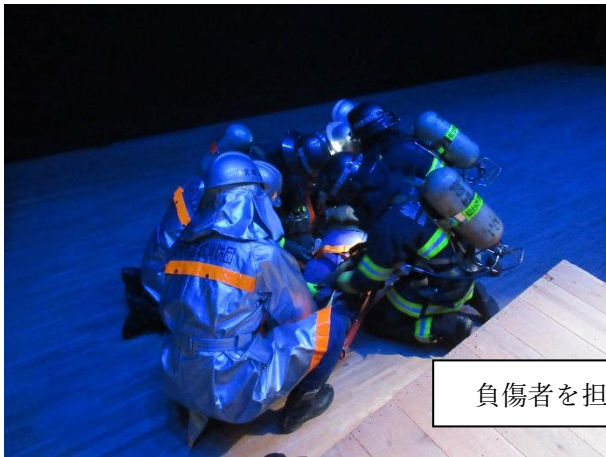
また、舞台の照明器具が転倒・落下するなどして火災が発生し、広瀬文化センター職員及び工事関係者により救出救護、初期消火、避難誘導等の各種応急活動が必要になった。

通報を受け出場した消防隊は、負傷者の救護にあたりるとともに、火災の消火及び逃げ遅れた関係者の救出等、各種活動が必要になった。



平成 30 年春季火災予防運動 宮城消防署・広瀬文化センター合同消防訓練







最後は、正面玄関前で、水消火器の取り扱いについて説明を受け、実際に放水活動を行い全ての消防訓練が終了



【訓練を終えて】

普段の消防訓練は、災害が発生してから一連の流れで、進行していくため通常 10 分程度で訓練が終了してしまいますが、今回は、宮城消防署の職員から人命救助の方法など、一つ一つのステップごとに直接指導を受け、着実に訓練を進めていきました。

合同訓練中は、資機材が崩れ動けない負傷者の救出方法や放水で使用するホースの導線、救急隊員が行う負傷者への救出救護方法などが、直に確認でき施設管理者として、今後の具体的な災害対応に繋がられる有意義な訓練となりました。

また、施設の工事期間中ということもあり、工事関係者にも初めて訓練に参加して頂きましたが、これほど大規模な消防訓練は、なかなか経験がないと思いますので、工事関係者の皆様にとっても火災防御と救出救護技術が向上する大変貴重な消防訓練になったと思います。

【参加団体】

- 宮城消防署
- 宮城消防団
- 青葉区宮城総合支所
- 広瀬文化センター、広瀬市民センター、広瀬図書館
- (株)ユアテック、塚田電気工事(株)、(株)サンケン・エンジニアリング
- 仙台市防災安全協会

【参加人数】

71 名